

活動名：第24回ウインターカップフットサルin川俣U10

日程：令和7年2月8日(土)・9日(日)

会場：川俣町体育館

参加：4年生リフティング上位者 5名(2名不参加)

帯同：設楽・横山コーチ

結果：予選リーグ

VS 吉井田SSS	1 : 1	△	
VS FCヴェルジナーレ	9 : 1	○	
VS FCレグノア	3 : 2	○	リーグ1位通過
決勝トーナメント			
VS ファイブアロー	2 : 0	○	
VS 森合SSS	2 : 5	●	準決勝
VS 吉井田SSS	4 : 5	●	三位決定戦

第4位 / 16チーム中

報告：設楽

この大会の最終カテゴリーであるU10(4年生以下)は今年も強豪チームが集結し開催されました。そのため、4年生選抜チームを編成して7名の選手(リフティング記録100回以上者)で挑むことになりましたが、残念なことに病での不参加者2名が起り、フットサル競技人数は5名のためぴったりの参加者数で二日間の6試合を行いました。

試合前には参加した子どもたちに5名で交代が出来ないことを告げ、それでもしっかり戦ってほしい旨を伝え、初日の3試合に挑みました。

やはり強豪チーム揃いの大会であったため、初戦の吉井田SSSさんは今大会で結果3位となる強豪でしたが、勝者を譲らない接戦の試合を繰り広げ1:1の引き分けで終わりました。残り2分前には怪我で退場する選手も出たかな4名の選手で何とか引き分けに持ち込む戦いでした。

とにかく予選リーグの目標は明日の決勝トーナメントに繋がるように1位通過を子どもたちは目指し、リーグでは吉井田SSSさんと得失点差で1位をもぎ取りました。

しかし、予選リーグでは最終戦のFCレグノアさんとの試合が今大会で最も感動させられた試合内容でした。前半に2失点して0:2で後半へ向かうハーフタイム3分間の作戦ミーティングでは、負けている気持ちを切り替えさせるように守らずに攻めるしかないことを伝え、得点の仕方(武器)を話しして後半へ送り込みました。

後半はみんなが負けない気持ちある強いプレーを繰り広げ、武器をとことん炸裂し同点に追いつき、残り1分で大逆転劇を見せてくれました。子どもたちは終了のホイッスルを聞くと心の底から喜んでいました。見ている人たちを感動させることができた試合でした。

そのような予選リーグでしたが、キーパー役やポジションの指定も嫌がること無く

しっかりと自分の役割をこなしてくれました。

2日目の決勝トーナメントですが、初戦ではU12（6年生以下）の同大会でPK戦で敗れたファイブアローさんでしたので6年生たちの敵を取る気持ちで私は挑みました（笑）ファイブアローさんは2、3年生が中心のチームでしたが、果敢に攻め込む姿勢や堅い守りでなかなか得点できず手こずりましたがしっかりと勝ちきり準決勝へ駒を進めることができました。

準決勝は福島市の森合SSSさんでしたが、フットサルの戦術（ポジショニングやボール回しなど）をチームとして身につけている様子で、個々には負けることはありませんでしたが、即席メンバーのアーレとしてはチームづくりをしていないのでフットサルの戦術的に挑まれると厳しい戦いでしたが、失点を繰り返しても果敢に攻め込み、5点といった大きな失点でしたが、最後までアーレの勢いを相手に感じさせることができた試合内容でした。

決勝進出ができなかった選手たちでしたが、涙を見せることもなくやり切った感じでした。

最終戦の三位決定戦ですが、初戦の相手であった吉井田SSSさんとでした。

試合が始まると攻め込まれ失点を繰り返し、初戦とは違う流れになってしまいました。失点されても得点し、何とか後半終わり30秒前に4：4の同点に追いつき、このままPK戦になると思われましたが、残り13秒でキックインからの直接シュートを勘違いして、ボールに触らずにゴールへ見送ってしまい失点となり、終了のホイッスル。終わった瞬間から号泣する選手もいて、悪夢のような受け止められない悔しい最終戦となってしまいました。

どちらが勝利してもおかしくない三位決定戦でしたが、勝利の女神はアーレに微笑んでくれませんでした。私もとても悔しい敗戦だったので、子どもたちと同様に悔しい気持ちでしたが平常心を保ち抑えていました。

嬉しい結果もあり、今大会ではアーレから得点王を獲得できました。彼は毎試合、相手のゴールへ攻め込み、得点を重ねてチームを引っ張ってくれました。その結果、この大会の得点王になったことは素晴らしいことです。

大会が終わり最後の挨拶では、「このメンバーで今後も戦うことができるかはわからないこと、リフティングの記録が入れ替わることでまた新たなメンバーで試合に挑むようになる、自分の技術も感じることもできたので、他チームと戦ったことで、自分より上には上がいること、6年生までしっかり練習してまた大会で良い成績を目指そう」と。

二日間、寒い体育館の中で熱い声援をいただき応援して頂きましたご父兄の皆様、ありがとうございました。今後ともご理解とご協力の程、宜しくお願い致します。また、主催の川俣SSS（達南サッカー協会）さま、大変お世話になりありがとうございました。

コーチ：設楽



